

日下・関谷ロング連覇！

インカレロング 2008 2008 年 11 月 2 日（日）愛知県新城市

実力が試されたインカレロング。大本命の日下と関谷が予想通り優勝を飾った。

2008 年 11 月 2 日（日）愛知県新城市
日本学生オリエンテーリング選手権大会
ロングディスタンス競技部門

結果女子選手権 5.6km ↑420m

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1 関谷麻里絵 | 1:05:25 | 京都 4 |
| 2 阿部ゆかり | 1:07:53 | 東北 4 |
| 3 松永真澄 | 1:09:42 | 日本女子 4 |
| 4 永田有佳里 | 1:15:16 | 相模女子 3 |
| 5 柴田彩名 | 1:18:08 | 相山女学園 2 |
| 6 後藤未妃 | 1:19:35 | 宮城学院女子 3 |



最終前コントロールを通過する関谷麻里絵

関谷・インカレ4連覇

関谷麻里絵（京都大学 4）は、大学 2 年生のときにインカレミドルの金メダルを手にしてから、その後に開催されるインカレの個人戦ではすべて金メダルを手に入れている。その強さゆえか「まりえ様」と学生の間では呼ばれている。女子部員が少ない京都大学オリエンテーリングクラブの中で特に強い個性を発揮しているようだ。

「今度の春は最後のインカレ。でも負ける気がしない。」

優勝インタビューで言い放つ彼女。だがその言葉の裏側には本当に競い合える強いライバルが現れて欲しいというメッセージが込められているように



インカレロング優勝の関谷麻里絵と日下雅広。ともに昨年に引き続いて連覇。

思えた。

2 位の阿部、3 位の松永はいずれも関谷と同期 4 回生。この 3 人の速さは群を抜いている。後輩には負けたくないという強い思いがあるのだろう。



女子上位 3 名。学生選手権最後のロング競技で結果を残し満足の笑顔。関谷麻里絵（左）、阿部ゆかり（中央）、松永真澄（右）

結果男子選手権 8.1km ↑665m

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 1 日下雅広 | 1:15:07 | 東北 4 |
| 2 崎田孝文 | 1:15:36 | 名古屋 4 |
| 3 林 城仁 | 1:18:32 | 東京 4 |
| 4 太田貴大 | 1:21:00 | 東北 4 |
| 5 久米 航 | 1:22:45 | 東北 4 |
| 6 片岡裕太郎 | 1:24:17 | 名古屋 3 |



日下雅広・連覇へのファイナルアプローチ

神と呼ばれた男

日下雅広（東北大学 4）が今年もインカレロング優勝をがっちり掴んだ。

昨年の秋に頭角を現したと思ったら、インカレロング 2007 日光大会で優勝を勝ち取り、その後も目覚ましい活躍をしていた。その実力ゆえ同期学生たちからは「神」とも呼ばれた存在だった。

昨年から今年にかけての秋春インカレ連覇。そして2008年夏にはユニバーシアードに出場するためにエストニアへ。破竹の快進撃に見えた。しかしユニバーシアードという大きな挑戦を終えたあと、神もしばし休息をなさる。かげりが見えてきたモチベーションが再び上向きになったのは、競い合う仲間や後輩の存在だったという。

そんな「神」にあと30秒にまで肉薄したのが、この春のインカレ団体戦で東北大学を破り21年ぶりの優勝を飾った名古屋大学の崎田だ。

層の厚さを誇る東北大学。そして愛知の良質なトレインで練習を積んで勢いに乗る名古屋大学。今回のインカレロング2008男子選手権上位は、このふたつの大学と関東の雄・東京大学のぶつかり合いだった。

オリエンテーリングの醍醐味

男子選手権の上位ルート解析を見て鳥肌が立ったのは筆者・木村だけではないう。素晴らしいトレインに用意された最高精度の地図。練りこまれたコースに全身全霊で立ち向かってゆく競技者。あらゆる可能性のあるルートの中から、競技者にとってのベストルートを見つけ出し、鍛え抜かれた体と技術を駆使して森を抜けてゆく。ル



目指してきた日がやってきた。レース前に気合を入れる学生たち。インカレにかける学生たちの熱意は、昔も今も変わらない。

ートは大きく分かれるが、個々がベストを尽くした結果、タイムが拮抗し競い合うレースが展開された。

上位のルートは綺麗に散った。競技者の独創的なルート攻略に、コースプランナーも舌を巻いた。

競技者のルート選択と攻略を支える正確な地図があればこそその競技。これぞオリエンテーリング・クラシック、ロング競技の醍醐味だ。

(木村佳司)

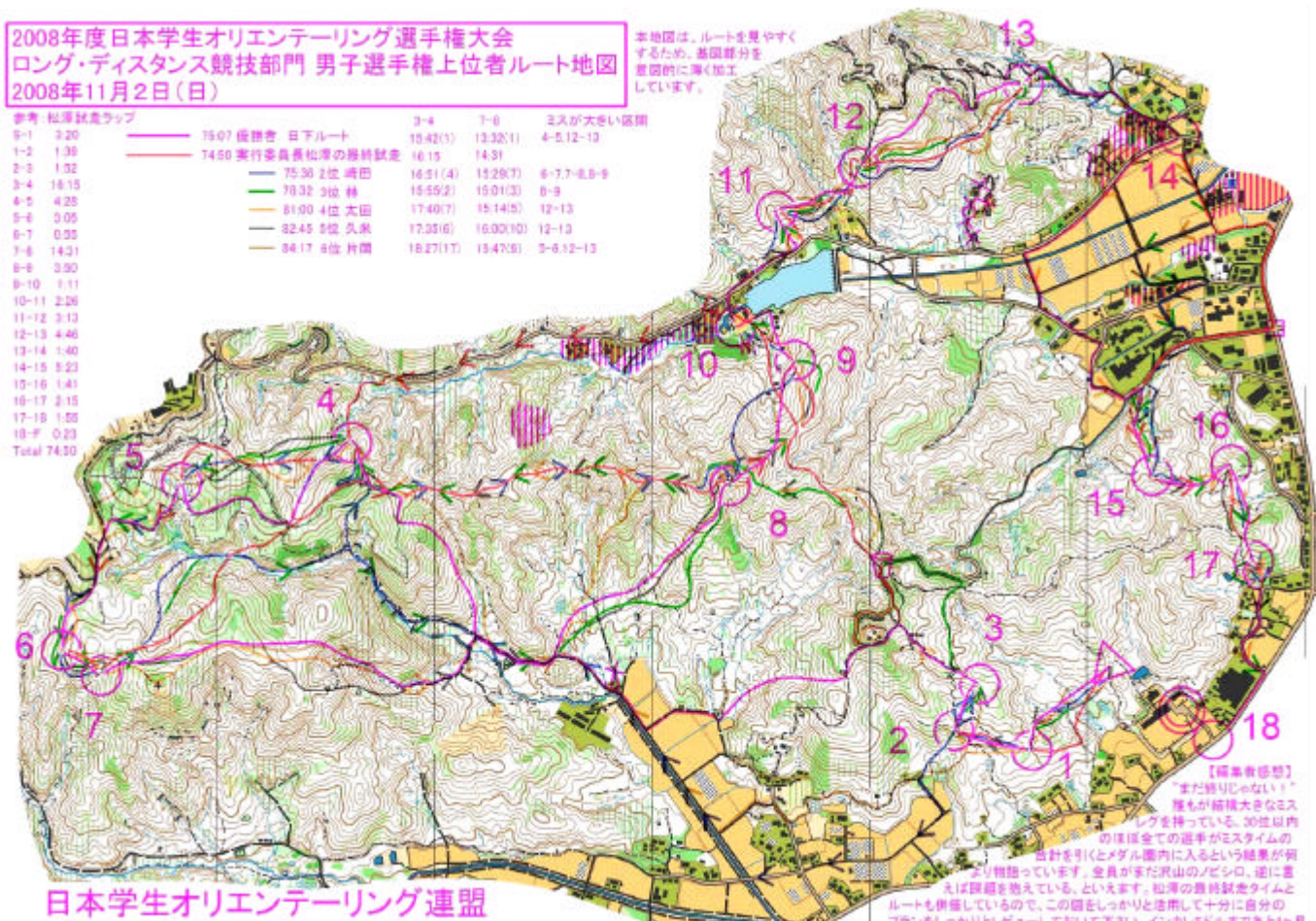


愛知・作手の森は最高同日開催された中日東海大会 W21E

2008年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロング・ディスタンス競技部門 男子選手権上位者ルート地図 2008年11月2日(日)

参考	松澤試走クラブ	15:07 優勝者 山下ルート	3-4	7-8	ミスが大変な区間
9-1	3:20	15:42(1)	15:42(1)	13:32(1)	4-5, 12-13
1-2	1:39	74:50 実行委員長松澤の最終試走	16:15	14:31	
2-3	1:32				
3-4	16:15	75:36 2位 崎田	16:31(4)	15:28(7)	6-7, 7-8, 8-9
4-5	4:25	79:32 3位 林	15:59(2)	15:01(3)	8-9
5-6	0:05	81:00 4位 太田	17:40(7)	15:14(5)	12-13
6-7	0:52	82:45 5位 久美	17:35(6)	16:00(10)	12-13
7-8	14:21	84:17 6位 片岡	18:27(11)	15:47(8)	9-8, 12-13
8-9	3:30				
9-10	1:11				
10-11	2:26				
11-12	3:13				
12-13	4:46				
13-14	1:40				
14-15	3:23				
15-16	1:41				
16-17	2:15				
17-18	1:59				
18-F	0:23				
Total	74:50				

本地図は、ルートをよく見やすくするため、基図部分を意図的に薄く加工しています。



日本学生オリエンテーリング連盟

【読者感想】
「まだ信じられない！」
歴々が結構大きなミス
を犯している。30位以内
の順位金での選手がミスの
出方を引くとメダル圏内に入るという結果が何
度も見えています。全員が来た沢山のノビシロ、道に
えば誤差を減らしている、といえます。松澤の最終試走タイムと
ルートも併走しているので、この図をしっかりと参照して十分に自分の
プランをしっかりとレビューしておいて下さい。インカレは大事な大会です。4ヶ月